

証券コード6859

エスペック株式会社

2015年度(2016年3月期)
決算説明会

2016年5月23日

www.espec.co.jp

目次

会社概要

2015年度 決算概要

2015年度 セグメント別分析

2016年度 経営計画

2016年度 重点戦略

参考資料

会社概要

大阪にて創業69周年 環境試験器の業界トップメーカー

会 社 名	エスペック 株式会社
本社住所	大阪市 北区 天神橋 3-5-6
代 表 者	石田 雅昭 (いしだ まさあき)
創業年月日	1947年(昭和22年)7月25日
設立年月日	1954年(昭和29年)1月13日
資 本 金	6,895百万円
発行済株式総数	23,781,394株
従業員数	1,409名(連結)
事業内容	環境試験器、エナジーデバイス・半導体、 植物工場の製造・販売、アフターサービス、受託試験など



本社

(2016年3月31日現在)

グローバルネットワーク

連結会社 13社
(海外9社、国内4社)

海外ネットワーク
43カ国33社

国内拠点 26カ所
国内代理店 48社

欧州

△ESPEC EUROPE GmbH
△ESPEC IKLIM KABINLERİ
SATIS VE MUHENDISLIK
LIMITED SIRKETI

- エスペック(株)
- エスペックテストシステム(株)
- エスペック九州(株)
- エスペックミック(株)
- △(株)ミックファーム大口

日本

アジア

- 上海愛斯佩克環境設備有限公司
- 愛斯佩克環境儀器(上海)有限公司
- 愛斯佩克試驗儀器(廣東)有限公司
- 愛斯佩克測試科技(上海)有限公司
- ESPEC(CHINA)LIMITED
- ESPEC KOREA CORP.
- △ESPEC SOUTH EAST ASIA SDN.BHD.
- △ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.

米国

- ESPEC NORTH AMERICA, INC.
- QUALMARK CORPORATION
- Real Chambers Corporation

●印…連結会社
△印…非連結子会社

(2016年3月31日現在)

TOPICS

2015年10月
ESPEC NORTH AMERICA 工場拡張



TOPICS

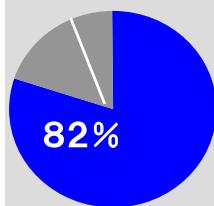
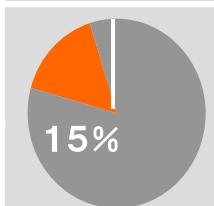
2016年1月
国際的なデザイン賞「iFデザインアワード2016」受賞



小型環境試験器が
「iFデザインアワード2016」を
プロダクト分野で受賞



事業概要(各事業の市場／用途)

		主要製品	市場	用途	売上構成比 2015年度	
装置事業	環境試験器	<ul style="list-style-type: none"> ・恒温恒湿器 ・冷熱衝撃装置 ・小型環境試験器 <ul style="list-style-type: none"> ・恒温恒湿室 ・複合試験機 ・ハストチャンバー ・FPD装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、電子機器 ・自動車 ・半導体 ・医薬品、食品等 ・LCD、有機EL 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 ・生産、検査 	 <p>82%</p>	
	エナジーデバイス装置	<ul style="list-style-type: none"> ・二次電池充放電サイクル評価装置 ・二次電池安全性評価装置 ・燃料電池評価装置 ・パワー半導体評価装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車 ・二次電池 ・燃料電池 ・パワー半導体 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 ・安全性評価 ・生産 		
	半導体関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・バーンイン装置 ・半導体評価装置 <ul style="list-style-type: none"> ・計測システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体 ・自動車 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産、検査 ・開発、評価 		
サービス事業	アフターサービス エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターサービス <ul style="list-style-type: none"> ・機器周辺工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、電子機器 	—	 <p>15%</p>	
	受託試験 レンタル	<ul style="list-style-type: none"> ・受託試験 ・リセール <ul style="list-style-type: none"> ・機器レンタル ・校正 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車 ・半導体 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 		
その他 事業	環境エンジニアリング	森づくり、水辺づくり、都市緑化				
	新規事業	植物工場、将来の収益源となり得る新たな事業の開発・創造				

2015年度 決算概要

決算総括

■受注高は、装置事業、サービス事業セグメントが前期比で増加

■売上高は、国内市場、海外市場とも、前期比で増加

・国内 環境試験器が標準製品、カスタム製品ともに好調に推移

エナジーデバイス装置、半導体関連装置も堅調

・海外 環境試験器の輸出は、米国・中国・東南アジアを中心に堅調

米国・中国子会社が好調に推移

■営業利益は、売上高の増加により、前期比で33.2%増

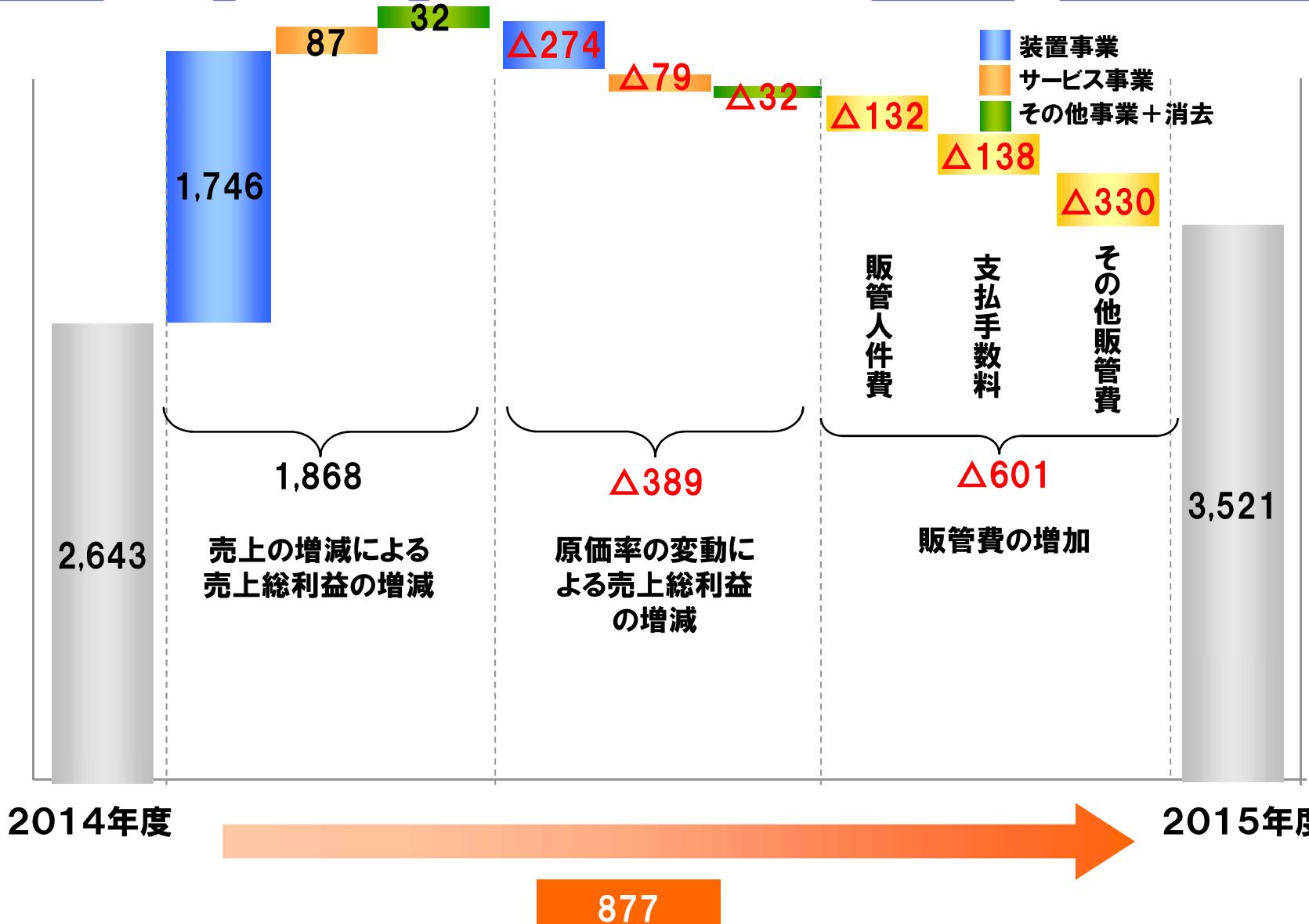
■期末配当金は、期初計画から4円増額し1株当たり23円、年間32円

損益の状況

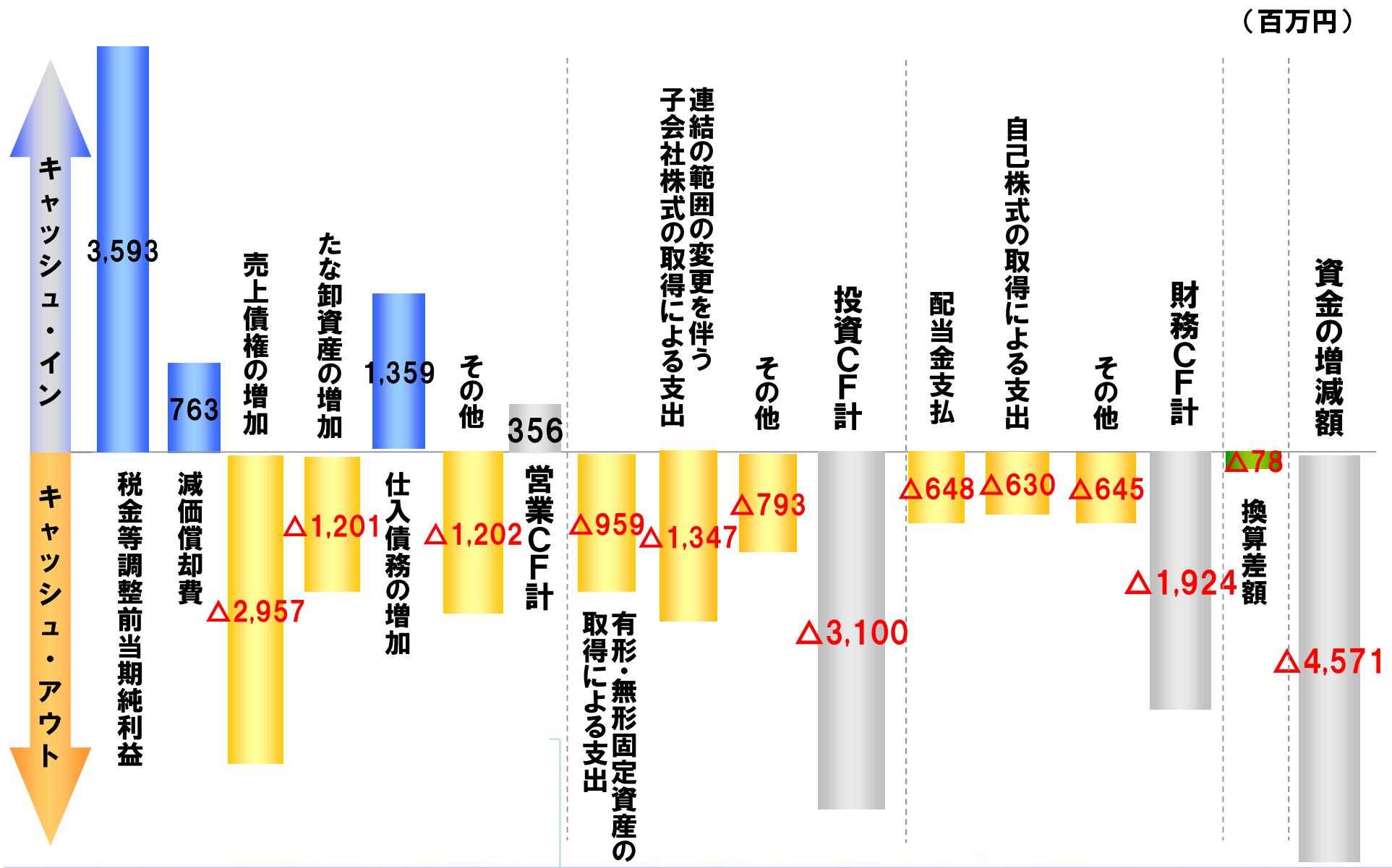
	2014年度	2015年度	(百万円)
	2014年度	2015年度	前年度比
受注高	36, 287	39, 903	10. 0%
売上高	33, 661	39, 035	16. 0%
売上原価 (原価率)	21, 567 (64. 1%)	25, 461 (65. 2%)	18. 1% (1. 1pt)
売上総利益	12, 094	13, 573	12. 2%
販管費	9, 450	10, 051	6. 4%
営業利益	2, 643	3, 521	33. 2%
経常利益	3, 044	3, 570	17. 3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2, 118	2, 410	13. 8%

営業利益の増減要因分析

(百万円)



キャッシュフローの状況

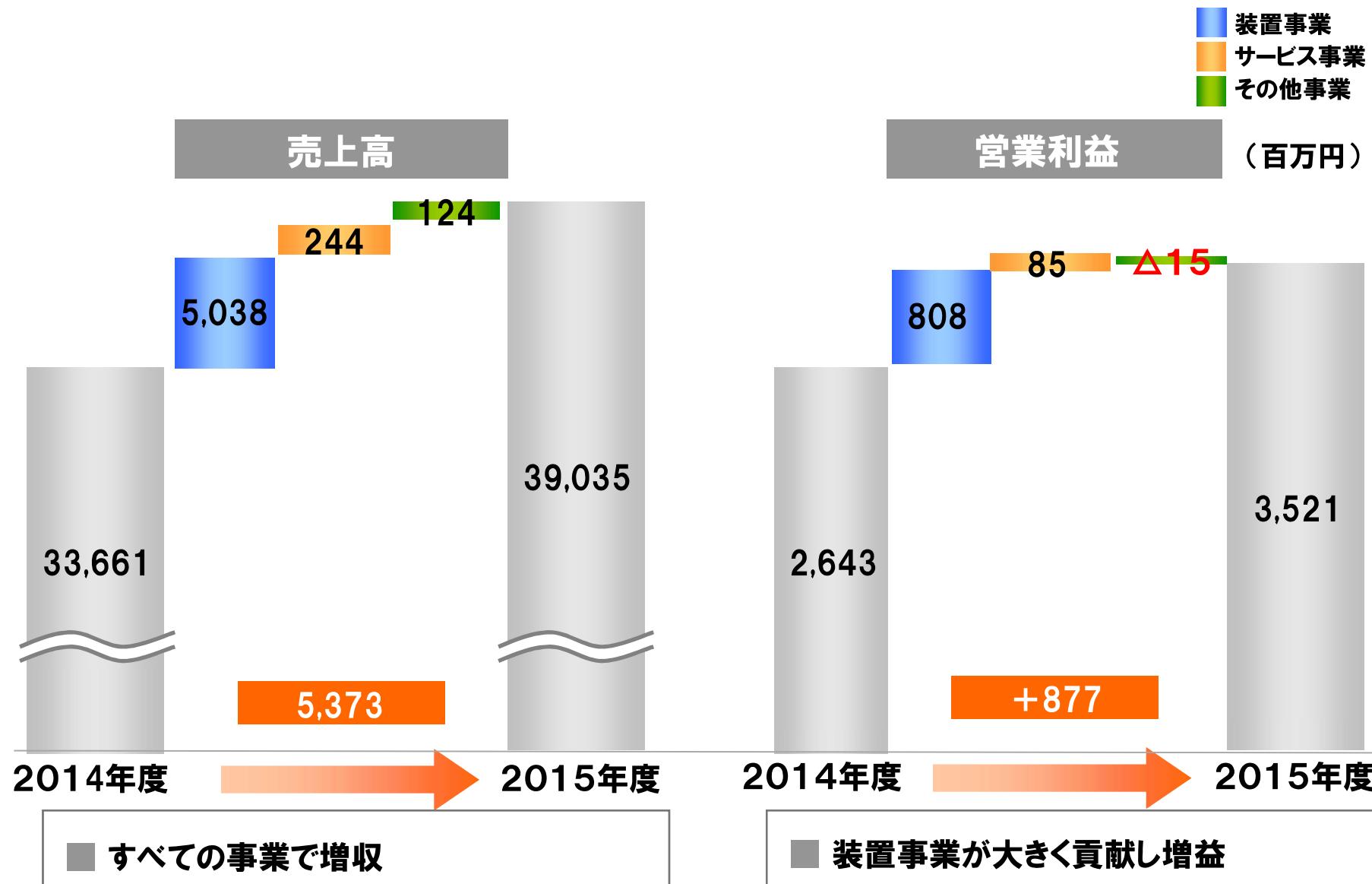


2015年度 セグメント別分析

セグメント別の状況

セグメント		2014年度	2015年度	(百万円) 前年度比
装置事業	受注高	29, 399	32, 951	12. 1%
	売上高	26, 992	32, 030	18. 7%
	営業利益	2, 178	2, 986	37. 1%
サービス事業	受注高	5, 589	5, 874	5. 1%
	売上高	5, 541	5, 786	4. 4%
	営業利益	430	516	19. 8%
その他事業	受注高	1, 527	1, 340	△12. 2%
	売上高	1, 350	1, 474	9. 2%
	営業利益	34	19	△44. 1%
連結消去	受注高	△227	△263	—
	売上高	△223	△256	—
	営業利益	0	△0	—
計	受注高	36, 287	39, 903	10. 0%
	売上高	33, 661	39, 035	16. 0%
	営業利益	2, 643	3, 521	33. 2%

当期実績と前期実績の差異分析



装置事業セグメント

環境試験器

- 国内市場の売上高は、増加
 - ・汎用性の高い標準製品は、好調に推移
 - ・カスタム製品も、自動車市場や研究機関を中心に好調に推移
- 海外市場の売上高は、増加
 - ・米国・中国・東南アジアを中心に輸出が堅調に推移
 - ・米国・中国子会社が好調に推移

エナジーデバイス装置

- 車載用二次電池用評価装置・燃料電池用評価装置は堅調に推移
- 受注高は前年並み、売上高は増加

半導体関連装置

- スマートフォン関連メーカーからの受注が堅調に推移
- 受注高、売上高ともに前期比で増加

装置事業セグメント

(百万円)

	2014年度	2015年度	前年度比
受注高	29, 399	32, 951	12. 1%
売上高	26, 992	32, 030	18. 7%
営業利益 [利益率 (%)]	2, 178 [8. 1%]	2, 986 [9. 3%]	37. 1%

サービス事業セグメント

(百万円)

	2014年度	2015年度	前年度比
受注高	5, 589	5, 874	5. 1%
売上高	5, 541	5, 786	4. 4%
営業利益 [利益率 (%)]	430 [7. 8%]	516 [8. 9%]	19. 8%

アフターサービス・エンジニアリング

- 受注高・売上高ともに、前期並み

受託試験・レンタル

- 主力のテストコンサルティングが堅調に推移
- 受注高・売上高ともに前期比で増加

その他事業セグメント

(百万円)

	2014年度	2015年度	
			前年度比
受注高	1, 527	1, 340	△12. 2%
売上高	1, 350	1, 474	9. 2%
営業利益 [利益率 (%)]	34 [2. 5%]	19 [1. 3%]	△44. 1%

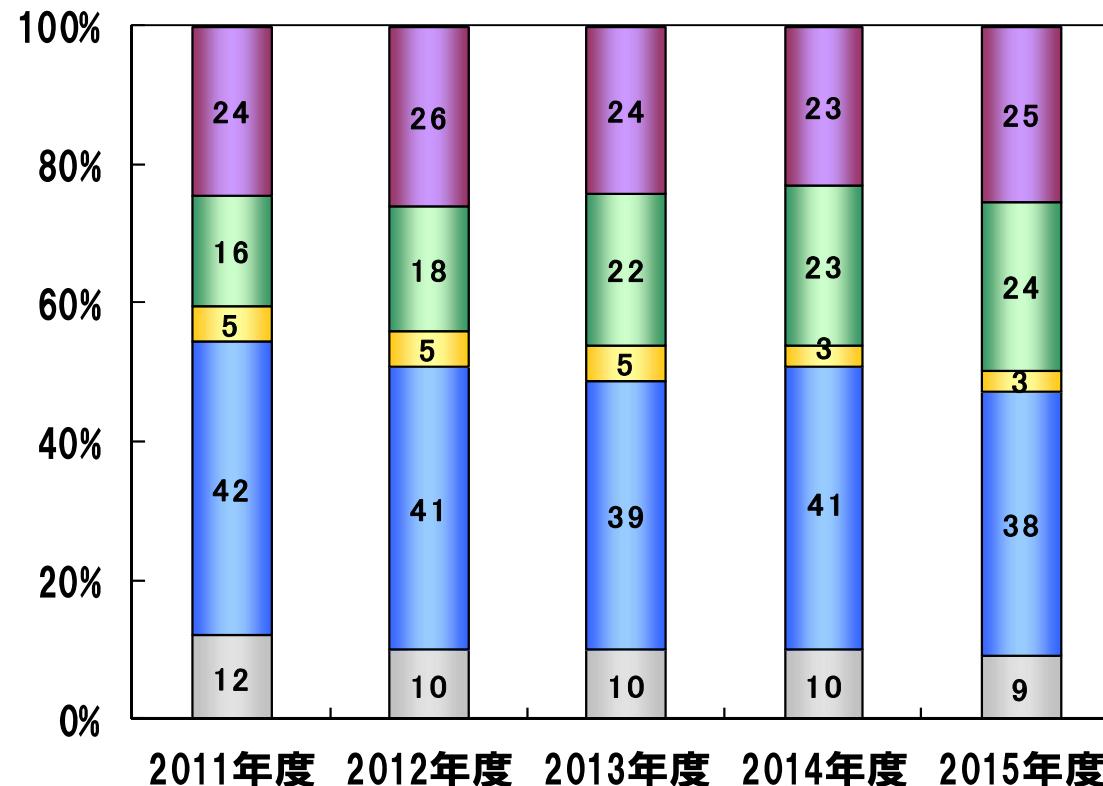
環境エンジニアリング・植物工場

- 環境エンジニアリングの森づくりや植物工場事業が堅調に推移
- 受注高は好調だった前期の水準に及ばなかったが、売上高は増加

市場別売上構成比

単体(装置事業)

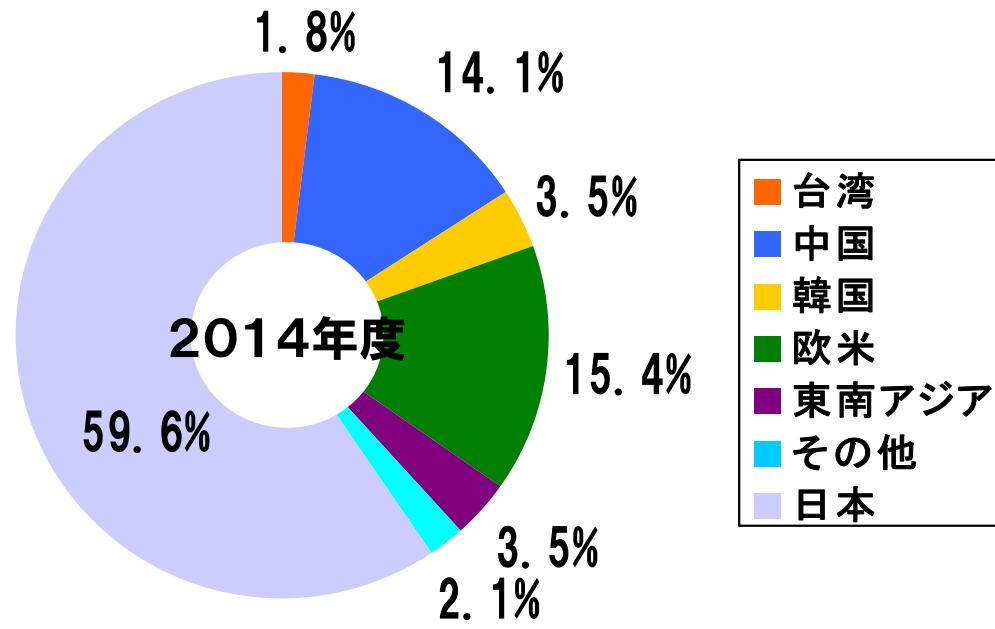
- その他市場
- 自動車市場
- フラットパネルディスプレイ市場
- 電子部品・電子機器市場
- 半導体市場



地域別売上構成比

2014年度

海外売上高比率:40. 4%

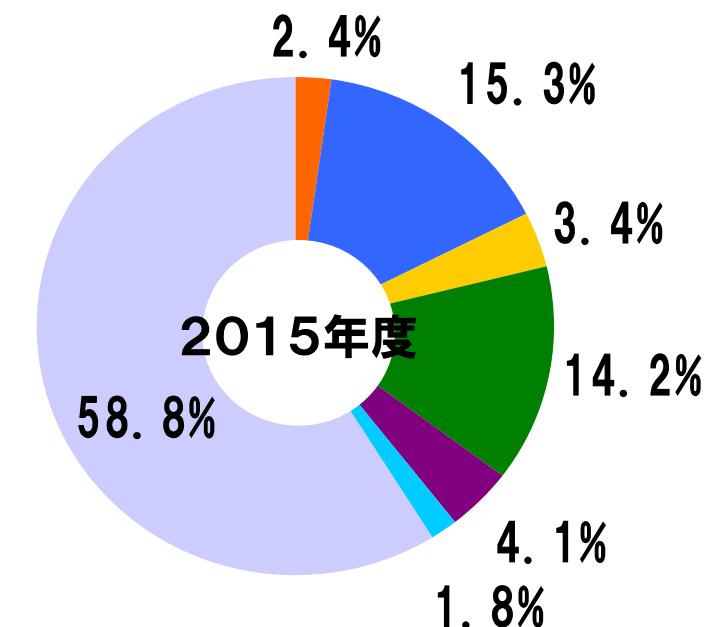


計 33, 661百万円

(海外売上高:13, 609百万円)

2015年度

海外売上高比率:41. 2%



計 39, 035百万円

(海外売上高:16, 072百万円)

2016年度 経営計画

2016年度 連結業績目標

	2015年度 実績	2016年度 目標
売上高	390億円	390億円
営業利益	35億円	36億円
営業利益率	9.0%	9.2%

2016年度 通期計画

(百万円)

	2015年度	2016年度			
	通期 実績	計画			
		上期	下期	通期	通期前年度比
受注高	39, 903	19, 000	21, 000	40, 000	0. 2%
売上高	39, 035	18, 000	21, 000	39, 000	△0. 1%
売上総利益 [利益率(%)]	13, 573 (34. 8%)	6, 350 (35. 3%)	7, 480 (35. 6%)	13, 830 (35. 5%)	1. 9%
営業利益 [利益率(%)]	3, 521 (9. 0%)	1, 400 (7. 8%)	2, 200 (10. 5%)	3, 600 (9. 2%)	2. 2%
経常利益 [利益率(%)]	3, 570 (9. 1%)	1, 450 (8. 1%)	2, 250 (10. 7%)	3, 700 (9. 5%)	3. 6%
当期純利益 [利益率(%)]	2, 410 (6. 2%)	1, 000 (5. 6%)	1, 600 (7. 6%)	2, 600 (6. 7%)	7. 9%
設備投資額	1, 162	230	250	480	△58. 7%
減価償却費	757	383	363	746	△1. 5%
研究開発費	956	470	490	960	0. 4%
1株当たり 当期純利益(円)	104. 75	43. 84	70. 14	113. 98	8. 8%

装置事業セグメント

(百万円)

	2015年度	2016年度			
	通期 実績	計画			
		上期	下期	通期	通期前年度比
受注高	32, 951	15, 600	17, 400	33, 000	0. 1%
売上高	32, 030	14, 900	17, 100	32, 000	△0. 1%
営業利益 [利益率(%)]	2, 986 [9. 3%]	1, 150 [7. 7%]	1, 850 [10. 8%]	3, 000 [9. 4%]	0. 5%

サービス事業セグメント

(百万円)

	2015年度		2016年度		
	通期 実績	計画			通期前年度比
		上期	下期	通期	
受注高	5, 874	2, 800	3, 200	6, 000	2. 1%
売上高	5, 786	2, 800	3, 200	6, 000	3. 7%
営業利益 [利益率(%)]	516 [8. 9%]	300 [10. 7%]	300 [9. 4%]	600 [10%]	16. 3%

その他事業セグメント

(百万円)

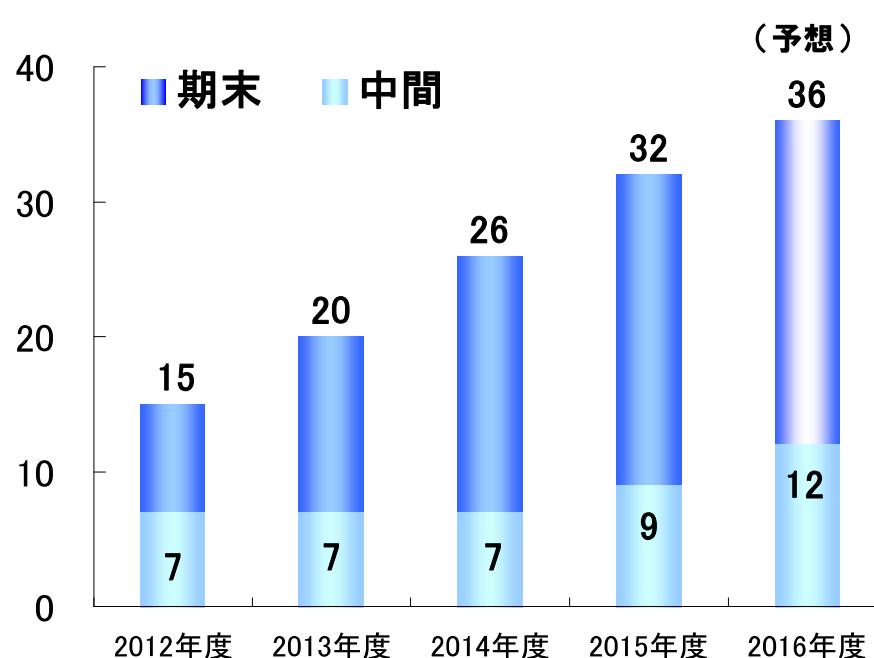
	2015年度	2016年度			
	通期 実績	計画			
		上期	下期	通期	通期前年度比
受注高	1, 340	700	500	1, 200	△10. 4%
売上高	1, 474	400	800	1, 200	△18. 6%
営業利益 [利益率 (%)]	19 [1. 3%]	△50 [△12. 5%]	50 [6. 3%]	0	△100. 0%

配当政策

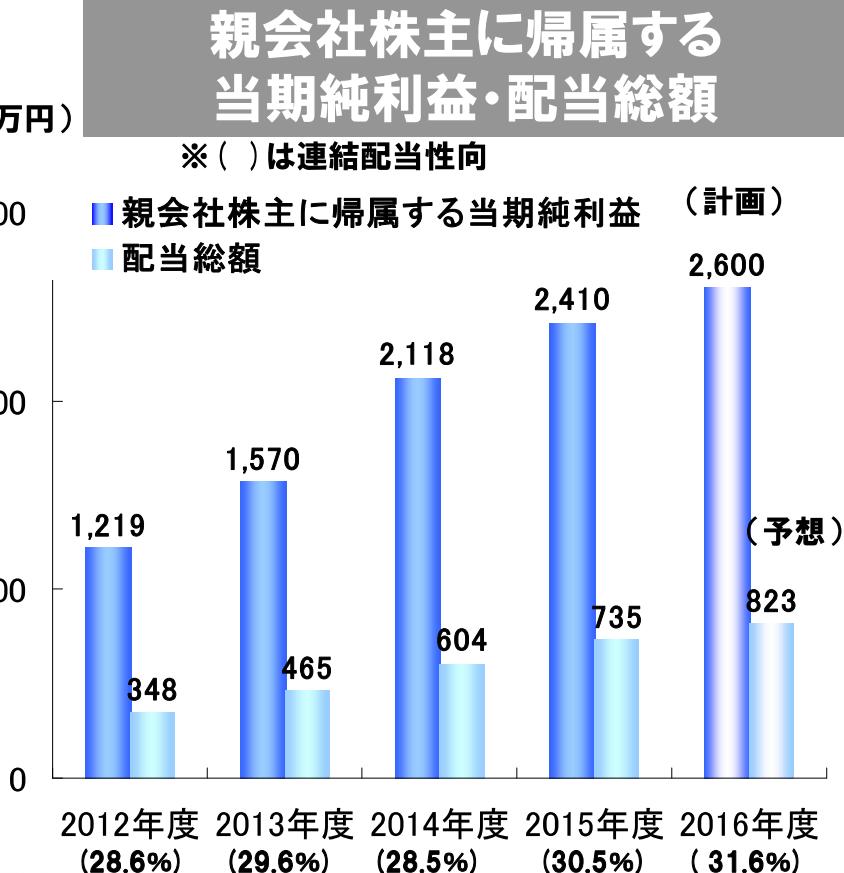
配当方針

株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考え、配当は継続性と配当性向を勘案して決定

一株当たり配当金



親会社株主に帰属する当期純利益・配当総額



2016年度 重点戦略

2016年度 重点戦略

重点戦略1

エスペックグループでの
連携シナジーによる
海外市場での売上拡大

重点戦略2

成長・戦略市場をターゲット
とした事業領域の拡大

経営資源の投入

重点戦略3

競合戦略による
国内環境試験市場での
売上拡大

1－1 海外市場での売上拡大

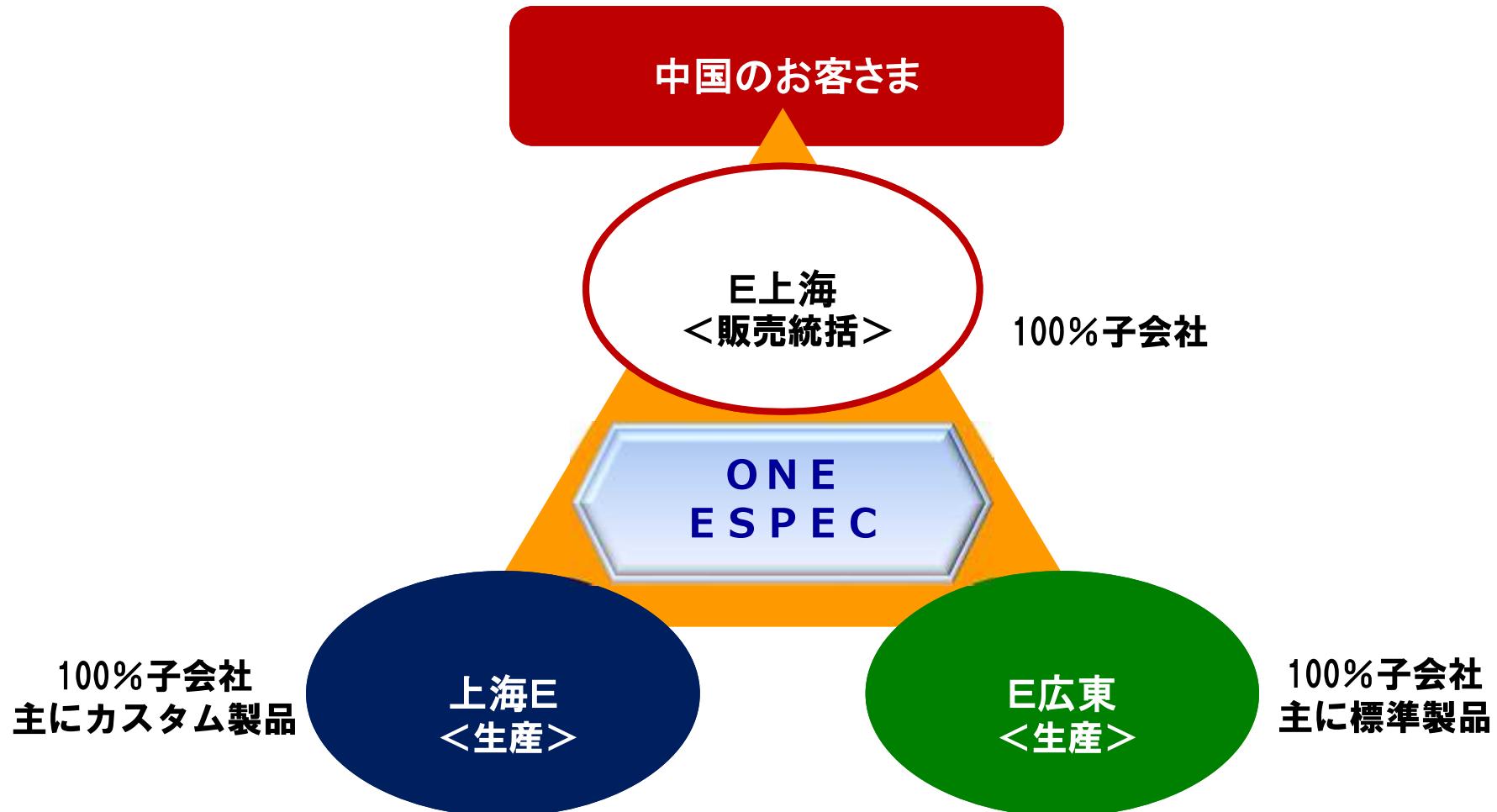
ASEAN（タイ）テクニカルサポート機能による差別化



- **ESPEC ENGINEERING (THAILAND)**
の技術サポート強化による
ASEAN市場の深耕

1-2 海外市場での売上拡大

中国市場での「One ESPEC体制」による売上拡大



2-1 成長・戦略市場での事業領域の拡大

自動車

<自動車の電動化や自動運転分野での売上拡大>

- ・カスタム製品の拡販
- ・受託試験サービスの拡販



2-2 成長・戦略市場での事業領域の拡大

自動車

<二次電池市場・燃料電池での売上拡大>

- ・カスタム製品の拡販
- ・エナジーデバイス受託試験サービスの拡販
- ・バッテリー安全認証試験の拡販



バッテリー安全認証センター
(宇都宮試験所内)



燃料電池用評価装置

2-3 成長・戦略市場での事業領域の拡大

<新規> 医薬品・食品

- ・安定性試験器、安定性試験室の拡販



安定性試験室



2-4 成長・戦略市場での事業領域の拡大

<新規> 生体医学

- ・トレーニング室の販売拡大



低酸素トレーニング室

2-5 成長・戦略市場での事業領域の拡大

<新規> 加速試験

QUALMARK CORPORATIONとのシナジー創出

- ・新製品の開発
- ・受託試験サービス



HALT&HASS試験機

2-6 成長・戦略市場での事業領域の拡大

<新規> 植物工場

高機能野菜に着目した植物工場

- ・ディーエイチシー社の
海洋深層水を使った
ミネラル豊富な野菜を生産
- ・航空機内食、高級スーパー
などで販売
- ・北米など海外展開



空中型植物工場（大田区）



フリルレタス

3 国内環境試験市場での拡大

当社独自のサービスによる競争力の強化

- ・業界初「5年保証」
- ・アフターサービス商品や受託試験メニューの開発

「5年保証」対象製品



恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ



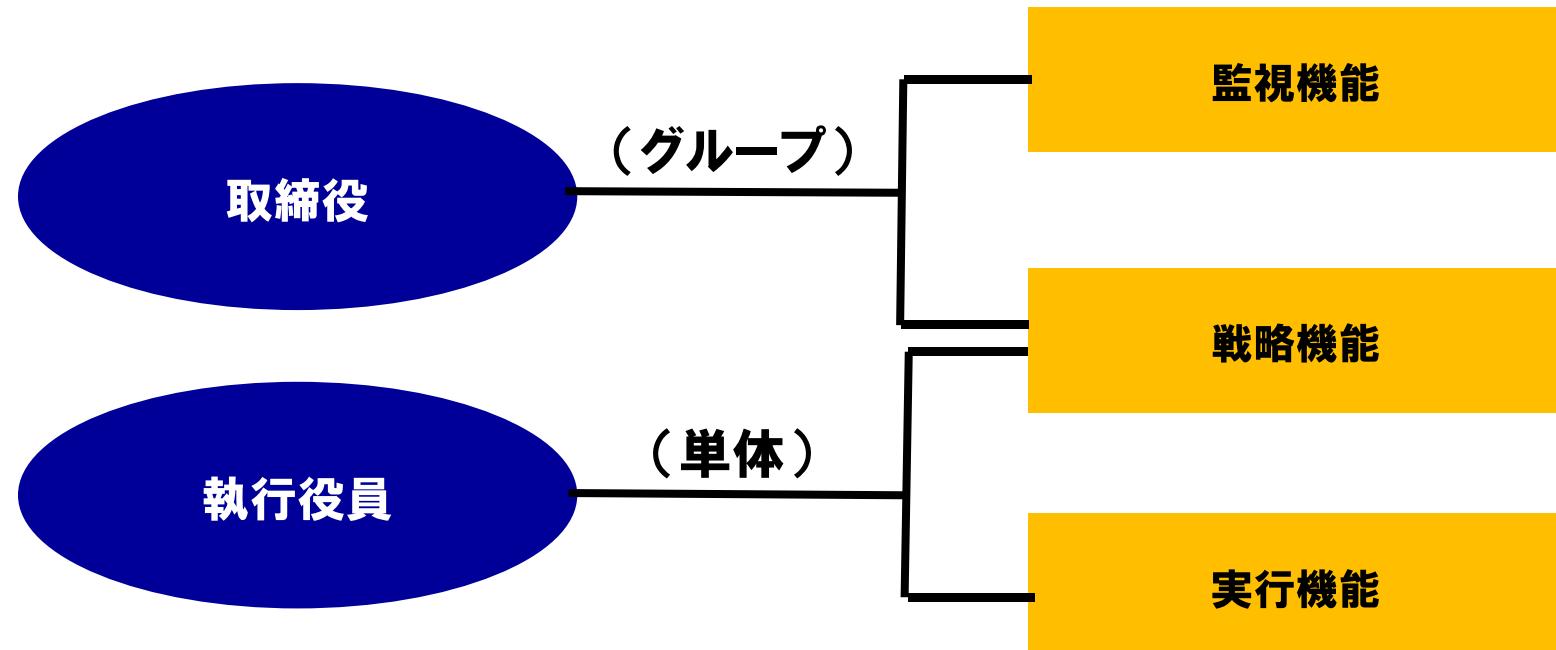
小型環境試験器



冷熱衝撃装置TSAシリーズ

2016年度の経営体制－執行役員制度の導入

連結経営における監視機能と実行機能の明確化により
コーポレートガバナンスの強化を図る



Quality is more than a word

ESPEC

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744

FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

コーポレートコミュニケーション部

部長 西谷
IR担当 大川・池嶋

參考資料

環境試験の沿革

環境試験とは

電子部品などのさまざまな工業製品について、温度、湿度、圧力、振動などの環境因子による影響を分析・評価し、製品の品質を確保するための試験

<1950年代>

日本で民生品の環境試験がJIS規格化



<1970年代・1990年代>

「信頼性」「品質管理」が製品開発の重要なテーマとなり、電子化・電装化の加速に伴い需要が飛躍的に拡大

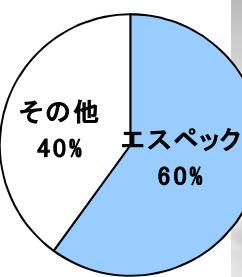


<現在>

二次電池や太陽電池など新エネルギー分野において需要が拡大



1961年 日本初の環境試験器を開発



国内シェア No.1に



【低温恒温恒湿器 ルシファー】

【恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ】

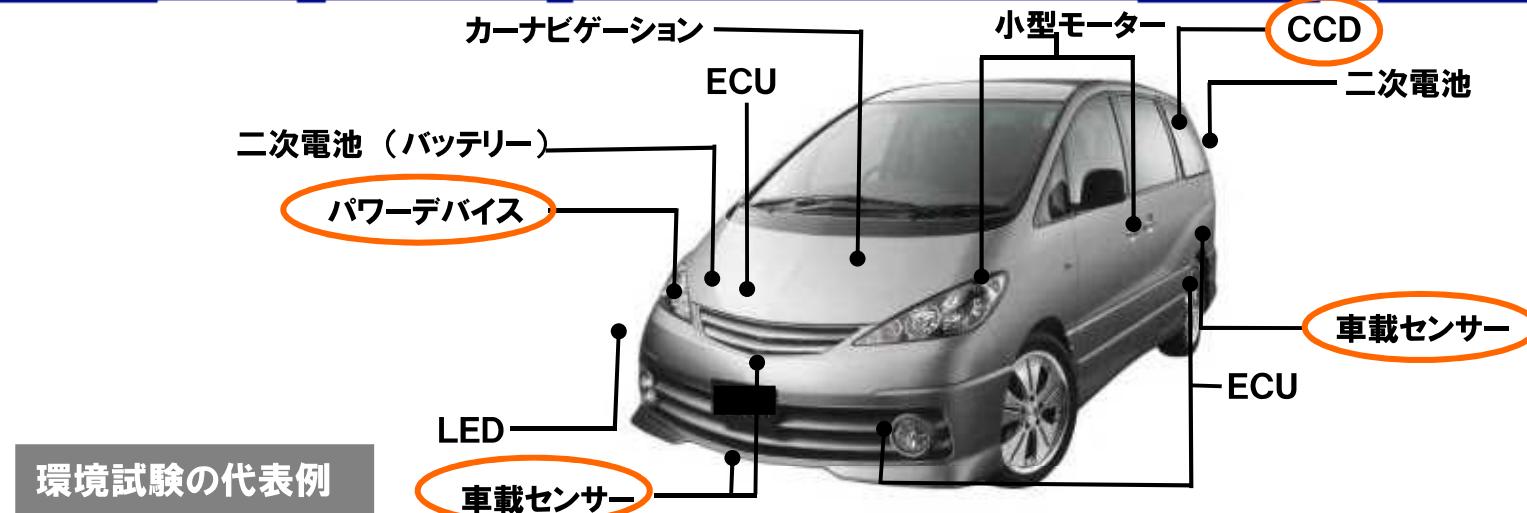
事業の変遷

環境試験器で培った

「環境創造技術」を軸に事業を拡大



【装置事業】環境試験器の用途事例



デバイス	プロセス／試験条件		当社製品
【パワーデバイス】 	検査	■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
		■高温放置: $+175^{\circ}\text{C}$, $+85^{\circ}\text{C}$	(小型)オープン
		■バーンイン試験	バーンイン装置
【車載センサー】 	検査	■基板の温度サイクル試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +110^{\circ}\text{C}$	低温恒温器(プラチナス)/オープン
		■はんだ付け後の温度特性試験: $-30^{\circ}\text{C} \Rightarrow +85^{\circ}\text{C}$ をリニア変化	バーンイン装置・急速温度変化チャンバー
	評価	■冷熱衝撃試験: $-30^{\circ}\text{C} \leftrightarrow \text{RT} \leftrightarrow +80^{\circ}\text{C}$, $-55^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +155^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
【CCD/CMOS】 	生産	■拡散試験: $+150^{\circ}\text{C}$	小型オープン
		■洗浄後の乾燥: $+85^{\circ}\text{C}$	クリーンオープン
	評価	■スクリーニング: $+85^{\circ}\text{C}$	恒温器(プラチナス)/バーンイン装置
		■温湿度試験: $+85^{\circ}\text{C} / +85\% \text{rh}$, $+60^{\circ}\text{C} / 90\% \text{rh}$	恒温恒湿器(プラチナス)
	検査	■加速試験: $+120^{\circ}\text{C} / 100\% \text{rh}$	HASTチャンバー
		■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$, $-20^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +85^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置

【装置事業】新製品紹介

発売日	製品名	特長
2015年9月	万能試験機用恒温槽	・プラスチック、ゴム、繊維などの材料評価試験
2015年2月	低温恒温恒湿器	・食品の保存試験 ・医薬品・化粧品の長期冷蔵保存試験
2014年11月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ	・最新のコントローラーを搭載し、操作性を向上
2014年11月	アドバンストセーフティテスター	・二次電池の3種の安全性試験を1台で実施
2014年11月	アドバンストバッテリーチャンバー Next	・二次電池の充放電試験をより高精度に 温度制御できる恒温槽
2014年7月	ライトスペック恒温恒湿器	・100V／15Aで使用可
2014年7月	小型超低温恒温器ミニサブゼロ	・-85℃から+180℃を精密制御
2014年5月	安定性試験器／安定性試験室	・国際基準に適合した計9機種をラインナップ

【装置事業】TOPICS

『小型環境試験器』が
国際的なデザイン賞「iFデザインアワード2016」を受賞

世界的に最も権威のあるデザイン賞「iFデザインアワード2016」において、当社の「小型環境試験器」がプロダクト分野で受賞しました。

本製品は、電気電子部品、自動車部品の研究開発段階での信頼性評価用途などで使用され、他社製品にはないコンパクトさや、機能性の高いデザインなどが日本国内はもちろん海外でも高く評価されています。



【装置事業】TOPICS

業界初 「製品5年保証」をスタート

2015年1月、お客さまとの信頼関係をより確かな
ものにするために、『つながる』『安心』をキーワードに
5年間の製品無償保証をスタート

●対象製品



恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ



小型環境試験器



冷熱衝撃装置TSAシリーズ

【装置事業】 エナジーデバイス装置の用途事例

充放電サイクル評価装置

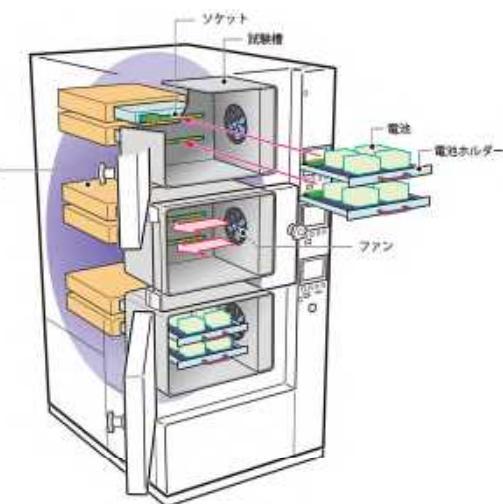
ハイブリッド自動車や電気自動車など次世代自動車に用いられるリチウムイオン二次電池の信頼性や安全性を確保するための装置



二次電池



充放電サイ
クル負荷



二次電池の充放電特性を確認

充放電サイクル評価装置
アドバンストバッテリーテスター

二次電池の性能や寿命を評価

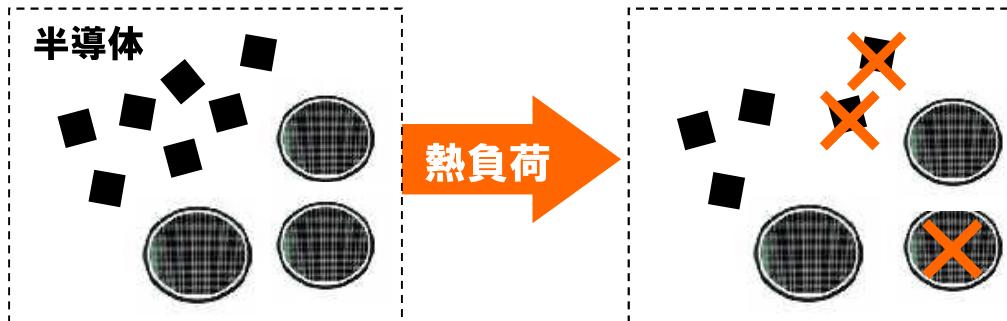
【装置事業】半導体関連装置の用途事例

スクリーニング

半導体デバイス製造の最終検査工程において、不良品を除去し初期品質を確保



バーンインチャンバー



潜在的な初期故障を除去

信頼性評価

新しい技術開発において、信頼性確保に向けた基本的な故障形態を評価



導体抵抗評価システム



電子部品のはんだ接合部分の信頼性を電気的に評価

熱サイクル負荷



はんだ接合部分の不良例

【サービス事業】

アフターサービス・エンジニアリング

製品の予防保全、メンテナンスサービス、製品の改善・改良、設置・移設など

- 国内No. 1のネットワークによるスピーディな対応
- 業界初のサービス「エスペックオンラインサポート」をスタート
- 世界各国に代理店を構え、海外においても「グローバルサポートデスク」を設置

受託試験・レンタル

受託試験・分析・評価、コンサルティング、製品レンタル、中古製品の販売、試験器校正など

- 国内5ヵ所、中国2ヵ所に受託試験所を展開

(国内:宇都宮2ヵ所・豊田・刈谷・神戸、中国:上海・蘇州)

- ISO/IEC17025に基づくIECQ独立試験所
- 計量法校正事業者認定制度 (JCSS) に基づく校正機関
- 2015年9月、世界初「バッテリー安全認証センター」開設
 - 国連規則に定められた全9項目の安全性試験から認証申請までワンストップサービスの提供
 - テュフズードジャパン(株)と車載用二次電池の安全性試験・認証サービスについて業務提携(2014年10月)



【バッテリー安全認証センター】
(宇都宮テクノコンプレックス内)

【サービス事業】TOPICS

世界初「バッテリー安全認証センター」を開設

2015年9月、宇都宮テクノコンプレックスに新たに開設
国連規則ECE R100-2. Part IIに適合する試験・認証申請を
サポートするワンストップサービスを提供



バッテリー安全認証センター
(宇都宮テクノコンプレックス内)



圧壊試験機(第1安全試験室) 第2安全試験室



【その他事業】環境エンジニアリング

環境エンジニアリング

■ 森づくり

潜在自然植生データによる樹種選定、幼苗植栽手法を用いた郷土の森づくり



■ 水辺づくり

水生植物を活用した、自然環境復元、植生護岸の形成、水質浄化

■ 都市緑化

ヒートアイランド現象の緩和に効果的な苔による屋上・壁面緑化システム



植物工場事業

植物の育成に必要な光・温湿度・養分などを最適にコントロールして植物を育てる植物研究・育成システムおよび装置



コンテナ式植物工場



ファイトロン

【その他事業】TOPICS

羽田空港近郊に臨空型植物工場を設置

海洋深層水を使用した高機能野菜を製造販売



臨空型植物工場（室内）